

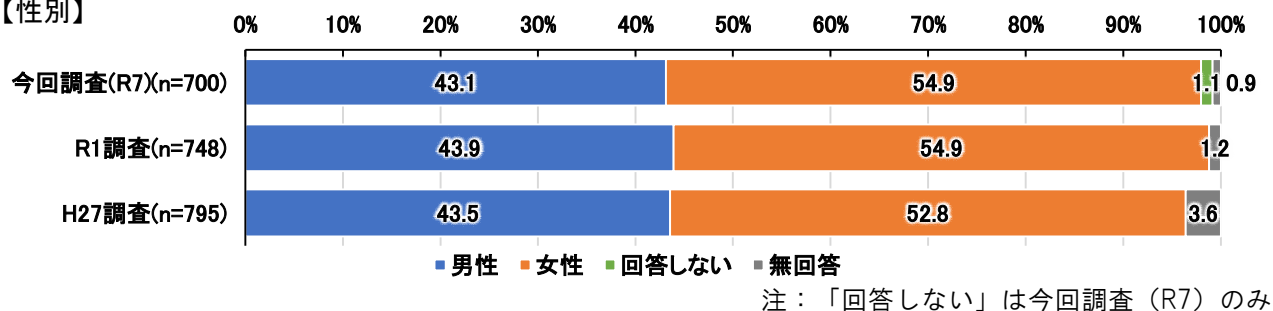
令和7年度第6次中山町総合発展計画・後期5か年基本計画等策定に係る 町民アンケートの結果（速報版）

調査の概要

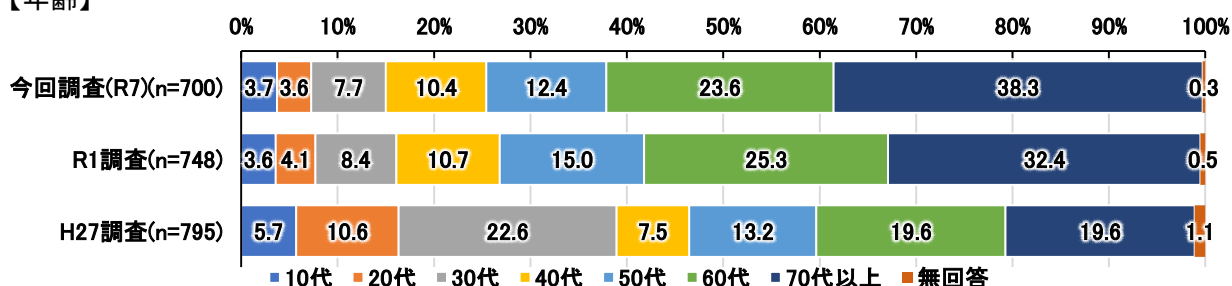
目的	令和7年度内に策定する第6次中山町総合発展計画・後期計画及び次期総合戦略策定の基礎資料として、同前期計画等に対する町民目線の評価を得るとともに、町づくりの方向性に関する町民の意向を把握することを目的とする。
調査対象	中山町に住民登録をしている15歳以上の町民のうち、無作為に抽出した2,000人
調査方法	設問法による無記名のアンケート調査（郵送配布・郵送回収・調査票に記載のURLや二次元コードからのWEB回答併用）
実施時期	令和7年7月14日～7月31日
回収結果	配布：2,000票 回収：700票（郵送：540、Web：160） 回収率：35.0%

回答者の主な属性

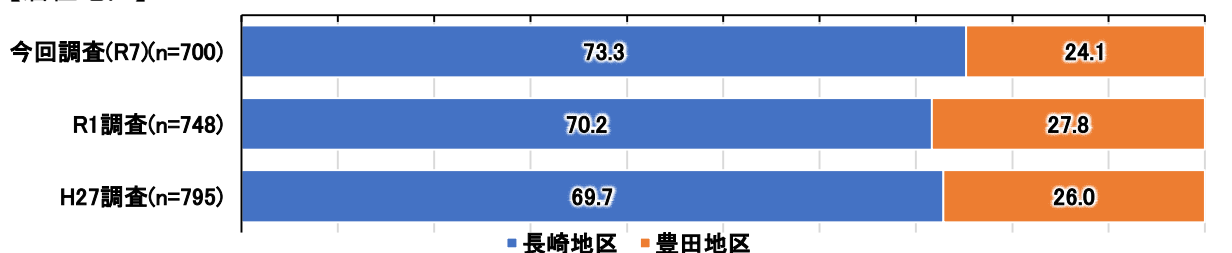
【性別】



【年齢】

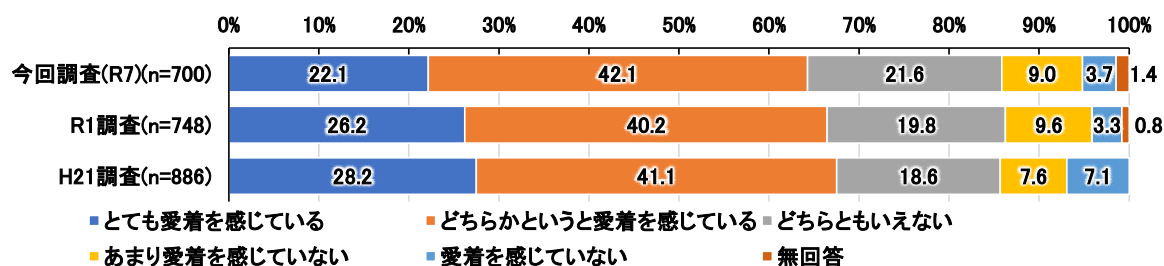


【居住地区】



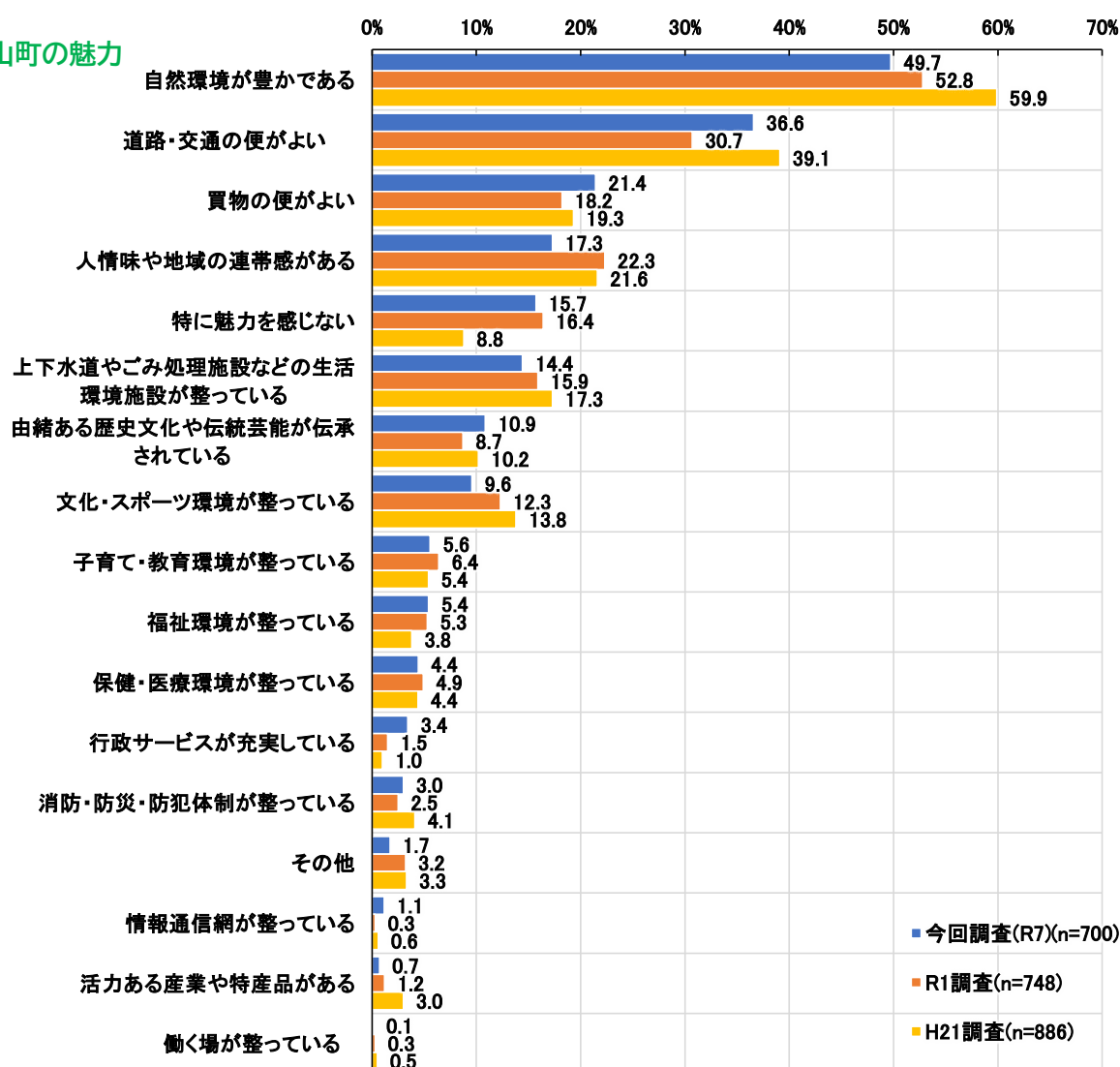
中山町への愛着・定住意向などについて

中山町への愛着



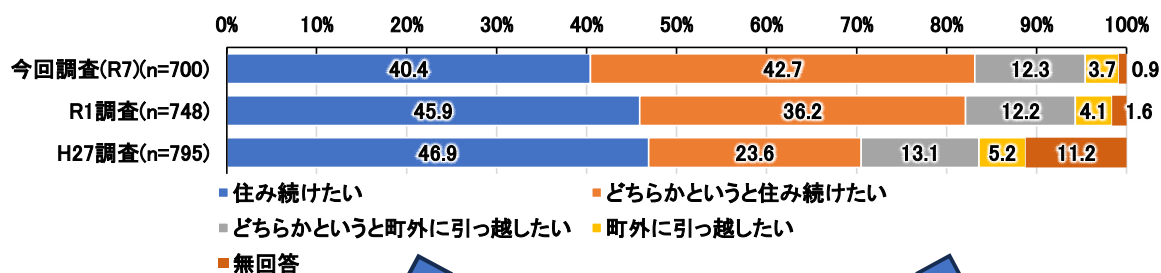
今回調査（令和 7 年）では、「とても愛着を感じている」「どちらかというとな愛着を感じている」と回答した人の合計が 64.2%となり、過去調査（令和元年調査：66.4%、平成 21 年調査：69.3%）と比べやや減少しています。一方で、「あまり愛着を感じていない」「愛着を感じていない」との回答は約 10%前後にとどまっており、多くの町民が一定の愛着を持っている状況が示されています。

中山町の魅力

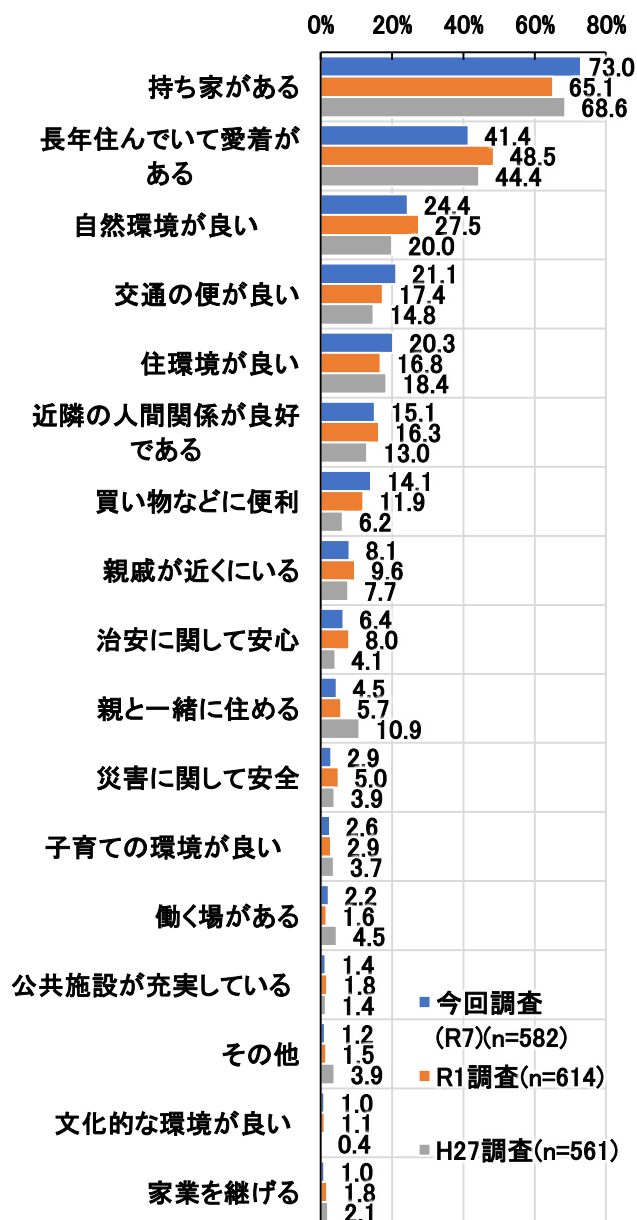


今回調査（令和 7 年）では「自然環境が豊か」との回答が 49.7%で最も多く、前回調査（令和元年：52.8%）よりやや減少しました。「道路・交通の便がよい」「買物の便がよい」は前回調査（令和元年）より増加しており、特に道路・交通の便がよいと感じている町民が増えていると伺えます。

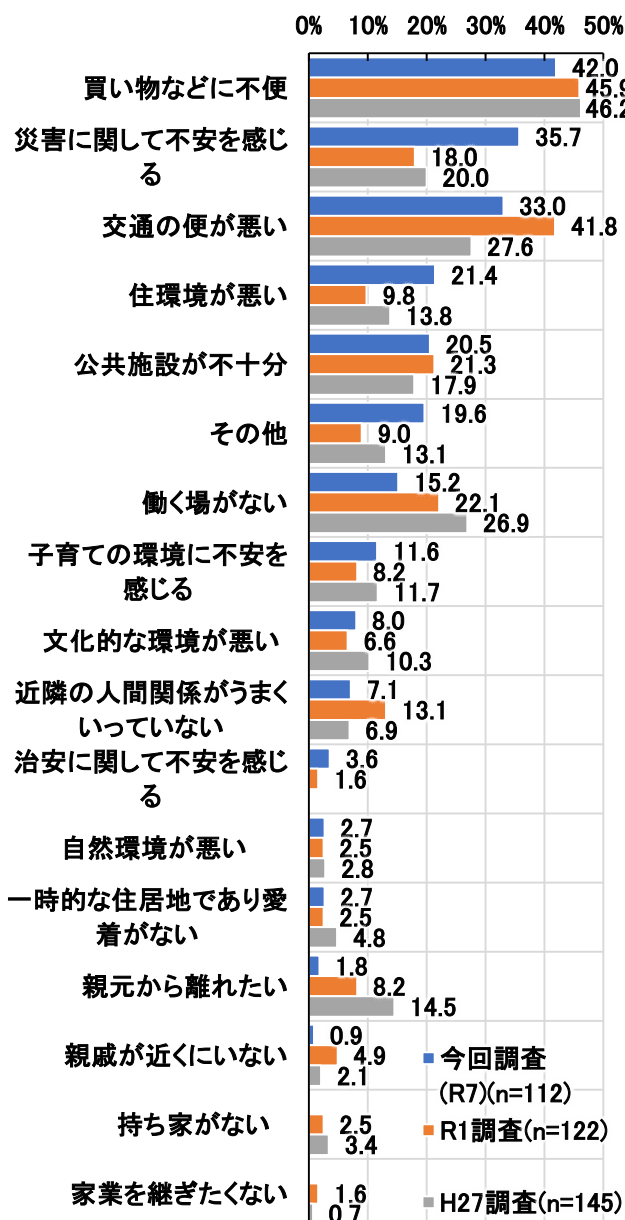
定住意向とその理由



住み続けたい理由



引っ越したい理由



町に「住み続けたい」と回答した人は約8割で、過去調査（令和元年・平成27年）とほぼ同水準でした。

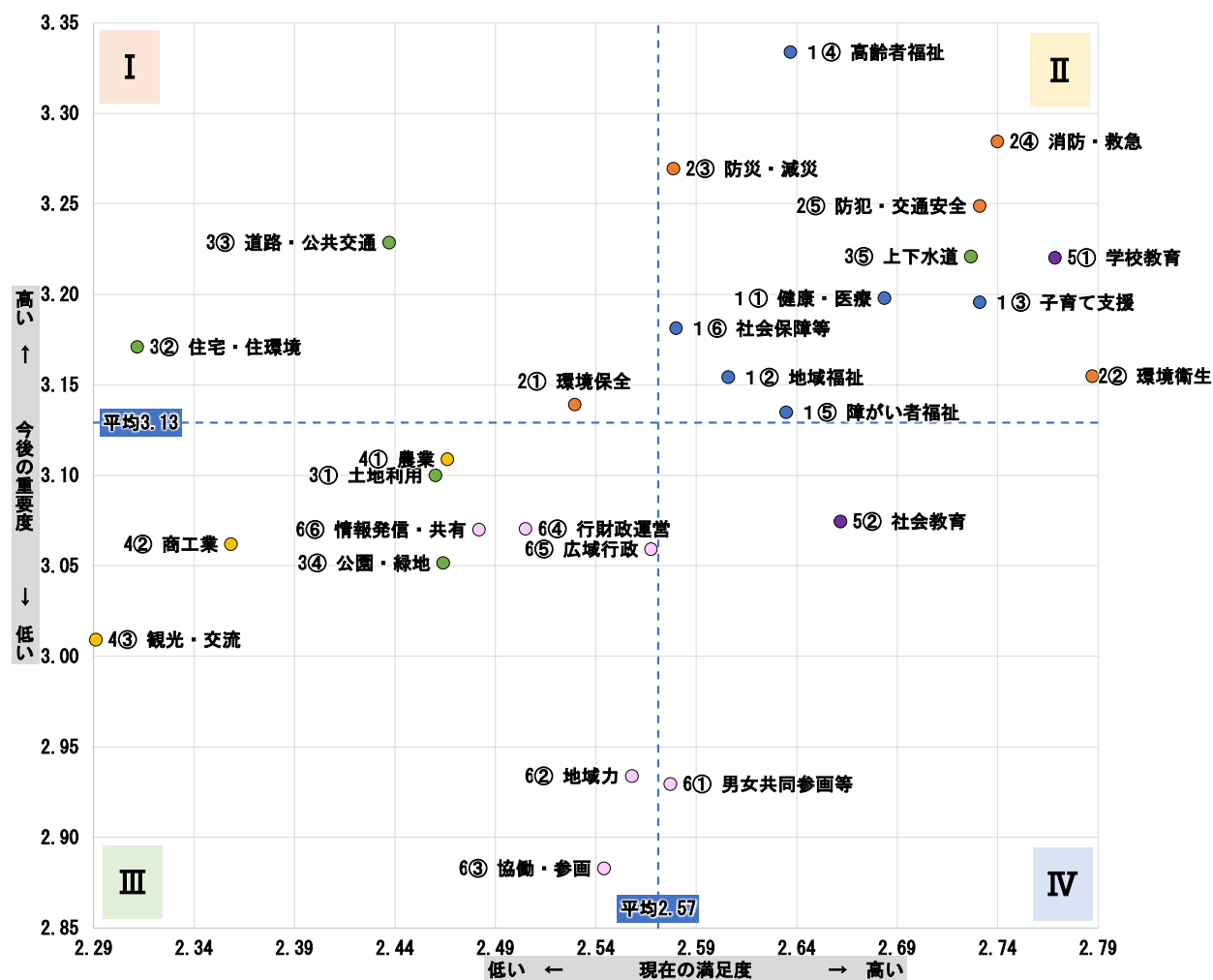
住み続けたい理由は「持ち家がある」「愛着がある」「自然環境が良い」が上位で、過去と大きな変化は見られません。一方、引っ越したい理由では「買い物の不便さ」が上位で過去と大きな変化は見られませんが、「災害への不安」は、過去より大幅に増加しました。災害へ不安を抱えている町民が増えています。

中山町のまちづくりについて

現基本計画における基本施策の満足度・重要度

基本目標	基本施策	【現在の満足度】						【今後の重要度】					
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 安心して生活できる子育てと福祉のまちづくり	① 健康・医療	6.9	57.0	4.9	25.1	6.1		31.0	51.3	6.9	9.1	1.7	
	② 地域福祉	5.1	52.4	5.9	30.4	6.1		28.0	53.6	6.4	10.4	1.6	
	③ 子育て支援	8.0	54.4	10.3	22.0	5.3		34.1	42.3	10.1	10.3	3.1	
	④ 高齢者福祉	6.0	54.9	5.7	26.1	7.3		42.4	42.4	5.9	7.6	1.7	
	⑤ 障がい者福祉	5.3	51.7	9.7	27.9	5.4		27.3	51.0	8.9	10.7	2.1	
	⑥ 社会保障等	4.0	52.3	6.6	30.6	6.6		31.6	49.1	7.0	9.9	2.4	
2 自然環境と共生した安全に生活できるまちづくり	① 環境保全	4.1	46.1	6.6	37.7	5.4		28.0	50.9	7.6	12.0	1.6	
	② 環境衛生	8.6	61.4	4.3	22.0	3.7		27.3	55.0	5.9	11.0	0.9	
	③ 防災・減災	5.3	51.0	4.9	31.9	7.0		34.6	51.1	6.1	7.0	1.1	
	④ 消防・救急	8.0	60.1	3.6	23.0	5.3		38.0	46.7	5.6	8.3	1.4	
	⑤ 防犯・交通安全	7.1	58.6	4.6	26.1	3.6		33.7	51.0	5.9	8.6	0.9	
3 利便性が高く快適に生活できるまちづくり	① 土地利用	4.7	42.9	5.9	37.1	9.4		25.6	53.3	7.1	11.7	2.3	
	② 住宅・住環境	4.7	32.4	5.0	45.1	12.7		32.0	48.7	5.6	11.6	2.1	
	③ 道路・公共交通	4.9	41.7	4.1	39.3	10.0		34.7	49.1	5.0	9.3	1.9	
	④ 公園・緑地	5.0	44.1	4.1	36.6	10.1		24.1	54.0	5.9	12.7	3.3	
	⑤ 上下水道	7.4	59.4	4.0	24.1	5.0		31.6	53.6	5.6	7.9	1.4	
4 活気と交流を生み出す産業が成長するまちづくり	① 農業	4.3	40.9	8.0	39.9	7.0		28.3	47.1	8.1	14.6	1.9	
	② 商工業	3.3	35.1	7.4	45.1	9.0		25.6	49.3	7.9	14.7	2.6	
	③ 観光・交流	3.6	32.6	5.1	46.1	12.6		26.1	46.0	6.6	17.3	4.0	
5 健康で心豊かな人を育むまちづくり	① 学校教育	8.0	58.0	8.1	22.0	3.9		33.3	48.0	7.9	8.7	2.1	
	② 社会教育	5.1	53.6	8.0	29.9	3.4		24.0	53.3	8.0	12.3	2.4	
6 人と人とのつながり協働によるまちづくり	① 男女共同参画等	3.9	49.0	8.9	33.7	4.6		17.7	52.9	8.9	17.0	3.6	
	② 地域力	4.4	48.6	7.0	34.0	6.0		19.0	52.1	7.1	18.3	3.4	
	③ 協働・参画	4.0	46.7	8.6	35.3	5.4		14.7	53.1	9.7	19.6	2.9	
	④ 行財政運営	4.6	44.0	8.3	35.9	7.3		23.6	52.9	8.7	12.6	2.3	
	⑤ 広域行政	4.6	48.0	8.6	33.1	5.7		22.7	54.0	8.3	12.7	2.3	
	⑥ 情報発信・共有	5.0	41.9	7.4	38.0	7.7		25.4	50.3	8.1	13.3	2.9	

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ 重視している ■ やや重視している
■ 無回答 ■ どちらかといえば満足していない ■ 無回答 ■ あまり重視していない
■ 満足していない ■ 重視していない



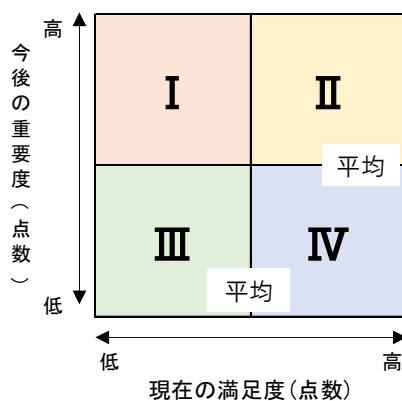
施策別満足度×重要度

「ア 分野別施策の満足度・重要度」で示した、「現在の満足度」と「今後の重要度」について、下式により点数化を行った。

$$\begin{aligned} \text{現在の満足度(点数)} &= \frac{(\text{満足している} \times 4\text{点}) + (\text{どちらかといえば満足している} \times 3\text{点}) + (\text{どちらかといえば満足していない} \times 2\text{点}) + (\text{満足していない} \times 1\text{点})}{\text{回答総件数(無回答を除く)}} \\ \text{今後の重要度(点数)} &= \frac{(\text{重視している} \times 4\text{点}) + (\text{やや重視している} \times 3\text{点}) + (\text{あまり重視していない} \times 2\text{点}) + (\text{重視していない} \times 1\text{点})}{\text{回答総件数(無回答を除く)}} \end{aligned}$$

なお、「現在の満足度(点数)」と「今後の重要度(点数)」のグラフ(散布図)は、それぞれの平均値を境に右図のように4つの領域に分類でき、例えば満足度が低く、重要度が高いⅠ領域に位置づけられた施策は優先的な対応が必要な施策とみることができる。

次ページ以降の「現基本計画のプロジェクトにおける主要施策の満足度・重要度」と「現総合戦略における具体的な施策の満足度・重要度」も同様。



- Ⅰ領域: 満足度が低く、重要度が高い⇒優先的な対応が必要
- Ⅱ領域: 満足度が高く、重要度も高い⇒重点的な対応の継続が必要
- Ⅲ領域: 満足度が低く、重要度も低い⇒優先度は低いものの対応が必要
- Ⅳ領域: 満足度が高く、重要度は低い⇒現在の対応の維持が必要

現基本計画の重点プロジェクトにおける主要施策の満足度・重要度

重点 プロジェクト	主要施策	【現在の満足度】						【今後の重要度】					
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 防災・減災 災害につい まちづくりに向 けた取組み	① 町防災対策の強化	5.7	45.1	6.1	35.1	7.9		42.7		42.0	7.0	7.3	1.0
	② 地域防災体制の整備・充実	5.4	45.3	6.7	37.0	5.6		37.4		46.7	7.0	8.1	0.7
	③ 情報伝達体制の強化	6.0	42.7	6.6	37.0	7.7		36.7		45.3	7.3	9.1	1.6
	④ 災害復旧に向けた取組みの推 進	4.6	41.0	8.3	39.0	7.1		34.7		44.4	8.0	11.0	1.9
	⑤ 将来の町の防災担い手の育成	4.4	37.6	8.4	41.4	8.1		35.4		44.6	8.1	10.1	1.7
2 子どもたち が住み続けたい・帰ってき たいと思えるま ちづくりに向 けた取組み	① 子どもと地域との関わりや体験 活動の充実	4.3	46.9	9.0	33.7	6.1		25.1		50.1	8.7	13.9	2.1
	② 中山町の魅力の向上・発見・情 報発信の推進	4.0	41.9	8.0	38.3	7.9		27.9		48.7	8.0	13.0	2.4
	③ 子ども・子育て支援の充実	6.6	53.6	8.4	26.4	5.0		32.3		48.1	8.1	9.4	2.0
	④ 定住・移住支援の充実	3.1	33.6	8.1	43.9	11.3		32.9		43.9	7.4	13.9	2.0
	⑤ 創業・就農・就業支援の充実	3.1	35.1	9.1	43.4	9.1		30.0		46.3	8.3	13.4	2.0
	⑥ 結婚・新生活の応援	3.4	32.0	8.6	44.9	11.1		25.9		45.7	8.1	15.7	4.6
3 歩きやす いまちづくり・ 歩いて健康な まちづくりの取 組み	① スポーツによる健康づくり活動 の推進	8.6	56.1	6.6	24.1	4.6		18.7		52.1	7.9	17.1	4.1
	② 『楽しみながら歩く』をつくる取組 みの推進	6.6	53.4	6.1	29.3	4.6		17.3		52.6	7.1	18.9	4.1
	③ 道路(歩道)環境美化の促進	3.9	41.3	6.1	40.1	8.6		27.0		50.3	6.9	13.4	2.4
	④ 歩行施設設備の機能向上の推 進	3.3	38.7	7.4	42.7	7.9		25.3		51.0	8.1	13.0	2.6
	⑤ 生活交通としての公共交通の機 能強化	4.0	38.9	7.1	42.3	7.7		32.1		50.0	7.6	9.0	1.3
4 町役場庁 舎・公共施設 再配置の事業 化に向けた取 組み	① 町役場庁舎更新の検討	6.1	37.4	8.4	39.1	8.9		27.0		44.1	8.6	14.7	5.6
	② 防災・レクリエーション拠点形成 に向けた検討	5.3	41.9	8.6	38.6	5.7		25.4		48.3	8.1	13.9	4.3
	③ 公共施設の再配置に向けた検 討	4.4	40.0	9.0	39.9	6.7		22.4		50.7	9.1	13.7	4.0
	④ コンパクトなまちづくりの推進	5.3	39.1	8.9	38.9	7.9		26.1		46.6	9.0	14.0	4.3

■ 満足している

■ 無回答

■ 満足していない

■ どちらかといえば満足している

■ どちらかといえば満足していない

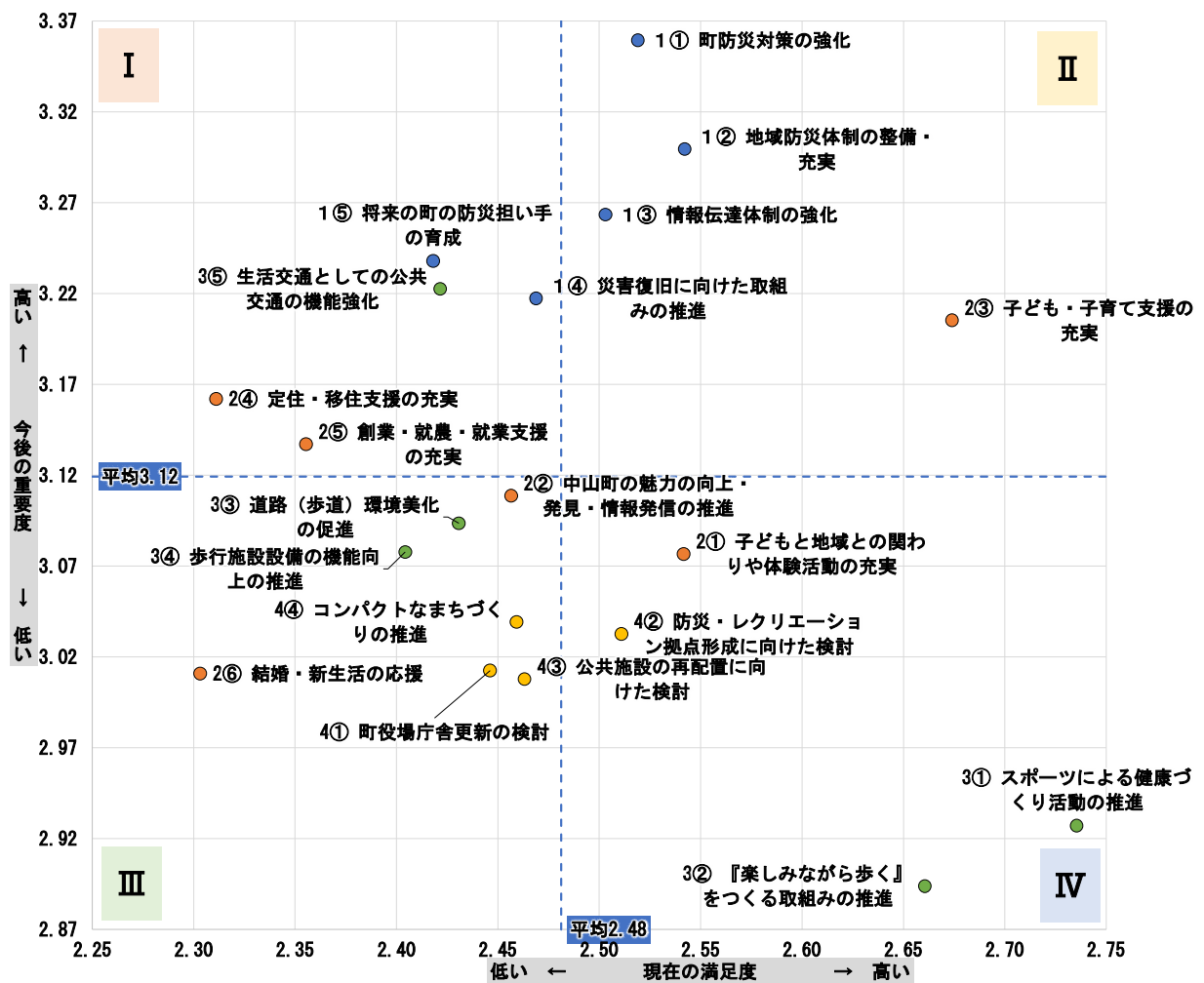
■ 重視している

■ 無回答

■ 重視していない

■ やや重視している

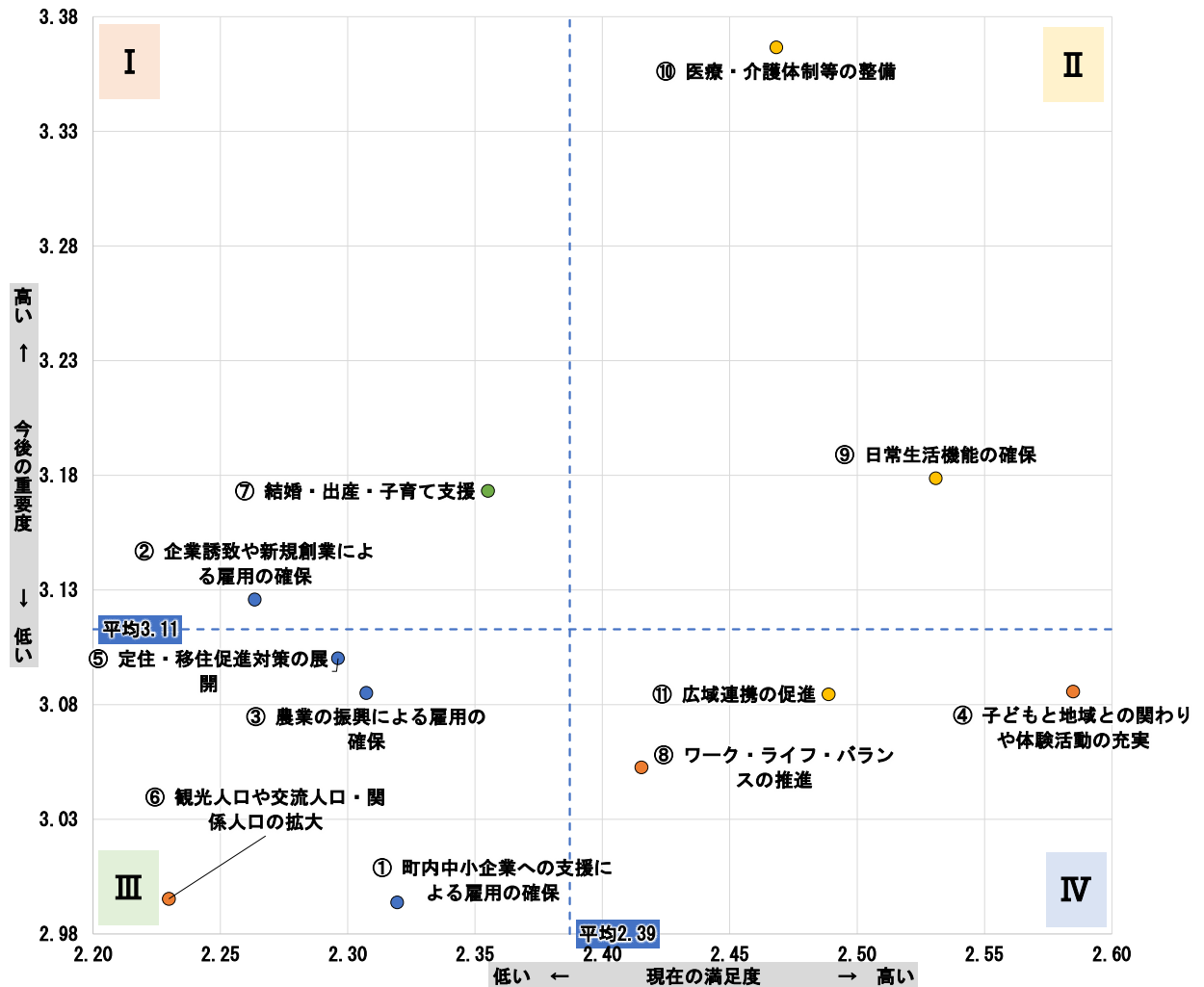
■ あまり重視していない



現総合戦略における具体的な施策の満足度・重要度

基本目標	具体的な施策	【現在の満足度】						【今後の重要度】					
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 なかやまの資源や立地条件を活かした創業支援と雇用の創出	① 町内中小企業への支援による雇用の確保	2.6	31.1	11.0	47.4	7.9		20.7	50.7	9.6	16.7	2.3	
	② 企業誘致や新規創業による雇用の確保	2.6	28.9	10.0	48.3	10.3		27.7	48.3	9.1	13.4	1.4	
	③ 農業の振興による雇用の確保	2.4	31.3	10.3	47.4	8.6		26.3	47.7	9.3	14.9	1.9	
2 なかやまに住もう・帰ろう・住み続けようの流れを創出	④ 子どもと地域との関わりや体験活動の充実	4.1	48.9	9.9	32.7	4.4		23.9	54.6	8.3	10.6	2.7	
	⑤ 定住・移住促進対策の展開	2.1	33.0	10.3	43.9	10.7		27.6	47.6	8.7	13.9	2.3	
	⑥ 観光人口や交流人口・関係人口の拡大	2.4	28.1	9.9	47.3	12.3		22.9	48.3	8.9	16.7	3.3	
3 なかやまの若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現	⑦ 結婚・出産・子育て支援	3.3	35.1	10.3	41.4	9.9		32.3	45.6	8.4	11.0	2.7	
	⑧ ワーク・ライフ・バランスの推進	2.4	39.6	12.3	37.7	8.0		21.9	52.7	10.4	12.9	2.1	
4 なかやまの安心・安全・健康な暮らしと広域連携によるまちづくりの実現	⑨ 日常生活機能の確保	2.9	48.4	9.9	32.6	6.3		28.6	51.6	8.9	9.7	1.3	
	⑩ 医療・介護体制等の整備	3.4	46.0	7.6	33.4	9.6		43.4	42.1	6.9	5.1	1.7	
	⑪ 広域連携の促進	2.7	44.9	10.3	35.7	6.4		25.1	51.1	8.7	12.6	2.4	

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ 重視している ■ やや重視している
■ 無回答 ■ どちらかといえば満足していない ■ 無回答 ■ あまり重視していない
■ 満足していない ■ 重視していない



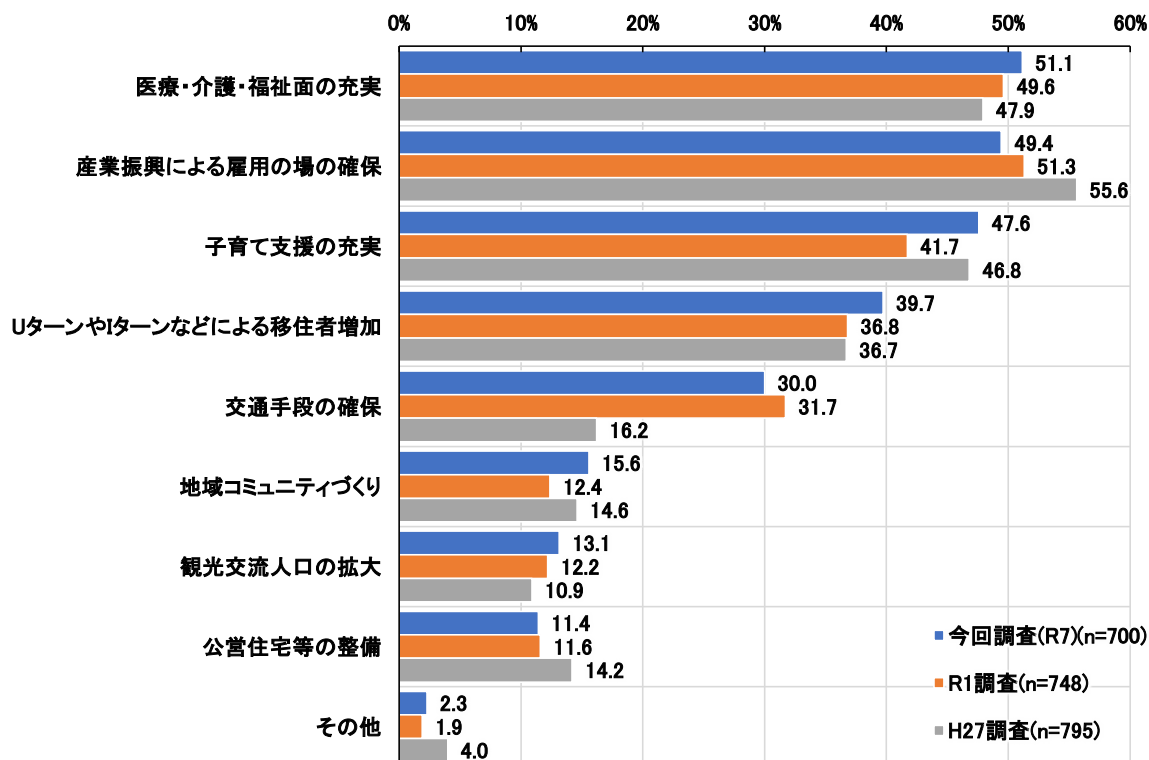
今後のまちづくりにおける対応が重要と考えられる「満足度が低く重要度が高い『Ⅰ領域』」、逆にすでに「満足度が高く重要度が低い『Ⅳ領域』」に分類できる施策は下表の通りとなっています。

	満足度が低く重要度が高い『Ⅰ領域』	満足度が高く重要度が低い『Ⅳ領域』
基本計画 における 基本施策	2①環境保全 3②住宅・住環境 3③道路・公共交通	5②社会教育 6①男女共同参画等
基本計画 のプロジェクトに おける主 要施策	1④災害復旧に向けた取組みの推進 1⑤将来の町の防災担い手の育成 2④定住・移住支援の充実 2⑤創業・就農・就業支援の充実 3⑤生活交通としての公共交通の機能強化	2①子どもと地域との関わりや体験活動の充実 3①スポーツによる健康づくり活動の推進 3②『楽しみながら歩く』をつくる取組みの推進 4②防災・レクリエーション拠点形成に向けた検討
総合戦略 における 具体的な 施策	②企業誘致や新規創業による雇用の確保 ⑦結婚・出産・子育て支援	④子どもと地域との関わりや体験活動の充実 ⑧ワーク・ライフ・バランスの推進 ⑪広域連携の促進

「満足度が低く、重要度が高いⅠ領域」に分類されたのは、基本施策では「環境保全」「住宅・住環境」「道路・公共交通」が該当し、生活基盤や安全性に関する課題が浮き彫りとなっています。プロジェクト施策では「災害復旧の推進」「防災担い手の育成」「定住・移住支援」「創業・就農・就業支援」「公共交通の機能強化」が挙げられ、これらは生活の安心や人口減少対策に直結する重要なテーマです。さらに、総合戦略においても「企業誘致・創業支援」「結婚・出産・子育て支援」がⅠ領域に分類されており、町の将来を左右する施策として、より実効性のある対応が求められます。

一方、「満足度が高く、重要度が低いⅣ領域」に分類されたのは、基本施策では「社会教育」「男女共同参画等」が該当し、現状の取り組みを維持することで安定した成果が期待されます。プロジェクト施策では「子どもと地域との関わりや体験活動の充実」「スポーツによる健康づくり」「『楽しみながら歩く』をつくる取組み」「防災・レクリエーション拠点形成の検討」などが含まれ、地域とのつながりや健康増進に関する施策が町民に受け入れられていることがわかります。総合戦略では「子どもと地域との関わりや体験活動の充実」「ワーク・ライフ・バランスの推進」「広域連携の促進」がⅣ領域に入り、現状の施策を維持することで町民の満足度を保つことが可能と考えられます。

人口問題対策として必要な取組み

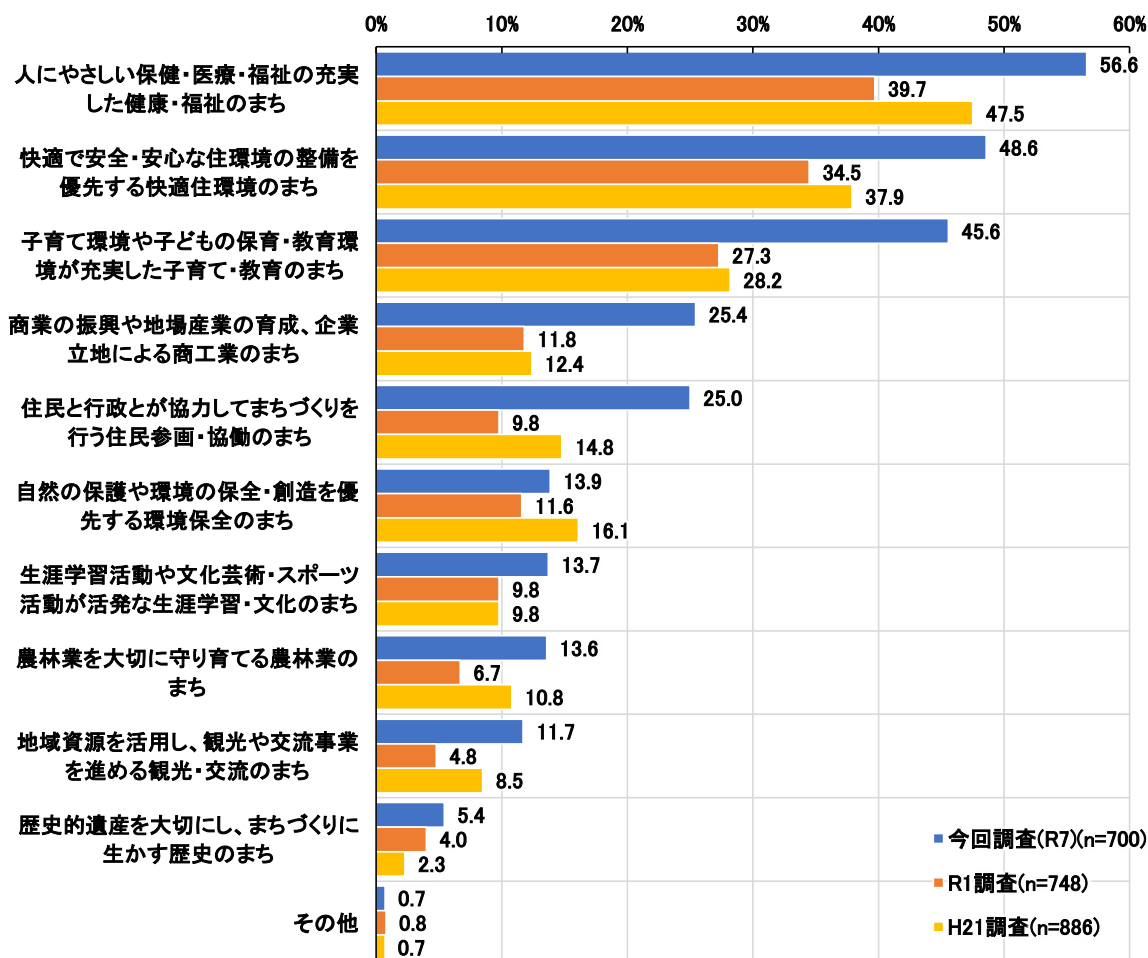


今回調査（令和 7 年）では、「医療・介護・福祉の充実」（51.1%）と「産業振興による雇用の場の確保」（49.4%）が最も多く、過去調査と同様に上位を占めました。

続いて「子育て支援の充実」（47.6%）や「U ターン・I ターンなど移住者の増加」（39.7%）も高く、幅広い世代の定住促進に直結する施策が重視されています。

一方で「地域コミュニティづくり」「観光交流人口の拡大」などは 1 割前後にとどまり、優先度の差が見られます。

中山町をどのような特色のあるまちにすべきか



今回調査（令和 7 年）では、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」（56.6％）が最も多く、過去調査と比較しても継続して高い支持を得ています。

続いて「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」（48.6％）や「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」（45.6％）も高く、生活の質や子育て支援に関する施策が重視されています。

一方で、「地域資源を活用し、観光や交流事業を進める観光・交流のまち」（11.7％）や「歴史的遺産を大切にし、まちづくりに生かす歴史のまち」（5.4％）などは 1 割前後にとどまり、優先度の差が見られます。

まとめ(まちづくりにおいて重視すべきポイント)

総論

町民の関心は「医療・福祉」「子育て支援」「住環境の整備」「公共交通」など、生活の安定と将来の安心に直結する分野に集中していることが明らかになりました。

一方で、「広域連携の促進」「地域コミュニティ」などの分野は相対的に優先度が低く、町民の実生活に密接した課題への対応が求められている状況です。

また、満足度と重要度のギャップが大きい施策（Ⅰ領域）では、基盤整備や防災、雇用の確保などが挙げられ、今後の重点的な取り組みが必要とされています。

「1 安心して生活できる子育てと福祉のまちづくり」関連

（健康・医療、地域福祉、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉、社会保障等）

- ・設問「中山町をどのような特色のあるまちにすべきか」では、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が56.6%の支持を集めており、選択肢11項目中1位です。
- ・設問「人口問題対策として必要な取り組み」では、「医療・介護・福祉の充実」が51.1%で選択肢9項目中1位、「子育て支援の充実」が47.6%で選択肢9項目中3位です。
- ・「健康・医療」および「子育て支援」はⅡ領域（満足度高・重要度高）に分類されており、今後も継続的に重点的な取り組みが必要です。



医療・福祉・子育て支援は、町民の生活の安心感や将来への信頼に直結する分野であり、今後も継続的かつ計画的な施策の充実が求められます。特に、医療・介護体制の整備や保育・教育環境の質向上、子育て世代への支援強化など、具体的なサービスの質とアクセスの向上が重要な課題となります。また、人口減少や高齢化の進行を踏まえ、世代間の支え合いや地域福祉のネットワークづくりも含めた包括的な取り組みが必要です。

「2 自然環境と共生した安全に生活できるまちづくり

（環境保全、環境衛生、防災・減災、消防・救急、防犯・交通安全）

- ・設問「中山町の魅力」では、「自然環境が豊かである」が49.7%の支持を得ており、選択肢17項目中1位です。
- ・設問「定住意向・引っ越したい理由」では、「災害に関して不安を感じている」が35.7%で選択肢17項目中2位です。
- ・「防災・減災」「環境衛生」Ⅱ領域（満足度高・重要度高）、に分類されており、今後も継続的に重点的な取り組みが必要です。



自然環境に関する分野は、中山町の魅力として高く評価されている一方で、災害に不安を感じているが引っ越しの理由として上位に挙げられており、災害時の対応力強化、環境衛生の向上など、日常生活の安全性と快適性を支える基盤整備が重要と考えられます。また、自然と共生しながら安心して暮らせるまちづくりが求められます。

「3 利便性が高く快適に生活できるまちづくり」関連

（土地利用、住宅・住環境、道路・公共交通、公園・緑地、上下水道）

- ・設問「中山町をどのような特色のあるまちにすべきか」では、「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が48.6%の支持を得ており、選択肢11項目中2位です。
- ・設問「引っ越したい理由」では、「買い物などに不便」が42.0%で選択肢17項目中1位、「交通の便が悪い」が33.0%で選択肢17項目中3位です。
- ・「住宅・住環境」「道路・公共交通」はⅠ領域（満足度低・重要度高）に分類されており、基盤整備の強化が必要です。



住宅・住環境や道路・公共交通の分野は、町民の快適な生活に直結する重要な基盤でありながら、満足度が低く、改善が強く求められていることがわかります。特に、買い物の不便さや交通の便の悪さが引っ越し理由として上位に挙げられており、生活利便性の向上が喫緊の課題です。今後は、住宅地や生活圏の整備、公共交通の利便性向上、日常生活に必要な施設の充実など、住み続けたいと思える環境づくりに向けた計画的な基盤整備が求められます。

「4 活気と交流を生み出す産業が成長するまちづくり」関連

（農業、商工業、観光・交流）

- ・設問「人口問題対策として必要な取組み」では、「産業振興による雇用の場の確保」が49.4%で選択肢9項目中2位です。
- ・設問「中山町をどのような特色のあるまちにすべきか」では、「商業の振興や地場産業の育成、企業立地による商工業のまち」が25.4%で選択肢11項目中4位です。
- ・「企業誘致や新規創業による雇用の確保」「創業・就農・就業支援の充実」はⅠ領域（満足度低・重要度高）に分類されており、戦略的な支援が求められます。



産業振興は人口問題対策としても重要な分野であり、町民の雇用や生活の安定に直結する課題です。特に、企業誘致や創業支援、就農・就業支援などは満足度が低く、重要度が高いⅠ領域に位置づけられており、戦略的な支援が求められます。今後は、地場産業の育成や商業の活性化に加え、地域資源を活用した観光・交流事業の推進を通じて、地域内外の人の流れを生み出し、活気あるまちづくりを進める必要があります。

「5 健康で心豊かな人を育むまちづくり」関連

（学校教育、社会教育）

- ・設問「中山町をどのような特色のあるまちにすべきか」では、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」が45.6%の支持を得ており、選択肢11項目中3位です。
- ・「社会教育」はⅣ領域（満足度高・重要度低）、「学校教育」はⅡ領域（満足度高・重要度高）に分類されており、現状の取り組みを維持することで十分な評価が得られていると考えられます。



子育て・教育環境の充実が町民の関心が高く、安心して子どもを育てられるまちづくりに対する期待がうかがえます。学校教育に加え、社会教育は満足度が高く、現状の取り組みを維持することで一定の評価が得られている分野です。今後は、教育環境の質向上や地域と連携した学びの場づくりを通じて、子どもから大人までが健やかに成長できる環境の整備が求められます。

「6 人と人がつながる協働によるまちづくり」関連

（男女共同参画等、地域力、協働・参画、行財政運営、広域行政、情報発信・共有）

- ・設問「中山町の魅力」では、「人情味や地域の連帯感がある」が17.3%の支持を得ており、選択肢17項目中4位です
- ・設問「中山町をどのような特色のあるまちにすべきか」では、「住民と行政とが協力してまちづくりを行う住民参画・協働のまち」が25.0%の支持を得ており、選択肢11項目中5位です。
- ・「男女共同参画等」「広域連携の促進」はⅣ領域（満足度高・重要度低）に分類されており、現状の取り組みを維持することで一定の評価が得られていると考えられます。



男女共同参画や広域連携は満足度が高く、現状の取り組みを維持することで十分な成果が期待できます。今後は、情報発信の工夫や地域活動への参加促進を通じて、住民一人ひとりがまちづくりに関わる機会を広げ、地域力の向上と持続可能な協働体制の構築が求められます。